

令和四年あばれ祭

新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン

はじめに

本ガイドラインは、あばれ祭の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症予防の対策など留意すべき事項を取りまとめたものです。

現在のコロナ禍において、日本遺産「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭～」にも登録され、能登半島でのキリコ祭を代表する祭りでもある「あばれ祭」を保存及び継承するためには、宇出津祭礼委員会をはじめとする祭り参加者及び町内会、そして、町民や観光客の相互協力のもと、様々な重要課題を乗り越える必要があります。

今後は感染拡大防止のため“新たな生活様式”を踏まえた“あばれ祭”の運営となりますが、一致団結して感染予防対策にしっかりと取り組み、安心安全なあばれ祭をめざしていきましょう。皆様のご協力をお願い致します。

1 祭礼に向けて各々が新型コロナウイルス感染予防に心がけてください。

- (1) 基本的感染対策の実施
- (2) 感染が流行している地域への往来は控える。

2 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は参加を自粛する事。

以下の症状がある場合は、参加の自粛を徹底し早期の感染拡大防止に努めてください。

- (1) 37.5度以上の発熱がある
- (2) 呼吸器の症状がある
 - ① 息苦しさがある
 - ② 咳（せき）が出る
 - ③ 痰（たん）が出る・からむ
 - ④ のどの痛みがある
 - ⑤ 鼻水、鼻づまりがある（※アレルギー性のものを除く）
- (3) 体がだるい、頭が痛い
- (4) 味覚、嗅覚異常（味がしない・匂いがしないなど）がある

3 あばれ祭の感染防止対策について

① 祭礼委員会

- 祭礼委員の健康管理（準備段階を含め祭礼における感染対策に十分に留意する。）
- 活動日の健康状況についてチェックシートにて記録する。
- 色々な事例が発生した場合において関係機関と協議・検討を行う。
- 祭礼後に祭礼関係者の感染が判明し報告があった場合は、関係機関へ報告し各町会長へ詳細を報告する。

② 町内会(キリコ関係者)

- 町内会住民への基本的な感染対策の再確認をお願いする。
- 全世帯へ参加予定者の参加調査票を配布し祭参加者の把握につとめる。
- 他地区からの参加者に各家庭を通じて健康状態のチェックをお願いする。
- 健康に不安がある人には参加を自粛してもらう。
- キリコ運行時には健康チェックリストにより参加者の体調管理を徹底する。
- 酒類の回し飲みは禁止とする。
- 祭礼後に関係者の感染が判明したら祭礼委員会へ報告する。

③ 神輿関係者

- 祭礼前に参加予定者への基本的な感染対策の再確認をお願いする。
- 参加予定者の事前確認を行い参加者の把握につとめる。
- 神輿参加者リストを作成し健康チェックシートに記入し保管する。
- 健康に不安がある場合は参加を自粛してもらう。
- 祭礼後に関係者の感染が判明したら祭礼委員会へ報告する。

④ 各家庭世帯

- 家庭内のキリコ参加者についての基本的感染対策の再確認と健康チェックを行うこと。
- 長時間のヨバレ(会食)を避ける。
- 屋内においては換気の徹底を行うこと。
- 家庭において持病があるなど重症化のリスクが高い者がいる場合は、常に感染リスクを低下させる意識を持つこと。
- 祭礼後に関係者の感染が判明したら町内会長へ報告する。

⑤ 祭礼参加者個人について

- 基本的な感染対策の再確認を行い徹底する。
- 体調管理を徹底し該当症状がある場合は参加を自粛する。
- 自身の安全管理と感染リスクを低下させる意識を常に持つこと。
- 他家庭への訪問はコロナ過である事を常に念頭に置き自粛する、もしくは長居しない。
- 祭礼後に感染が判明したら直ちに町内会長へ報告する。